

社協だより

萩

Vol. 66

2016
7/1



募集します

しあわせ写真コンテスト

このコンテストは、写真で日常生活にある笑顔、ふれあい、助けあい、交流する「幸せな姿」を残し、いつまでも語り継いでいこうとするものです。

身近な地域の福祉を推進するということは、こうしたステキな笑顔が私たちの地域にたくさん広がり、写真を撮る方も見る方も、幸せを感じることかもしれません。

日常にあるたくさんのお幸せな一コマをお待ちしています。

住民主体による生活支援サービスの活動

新しい地域づくり

現在、一人暮らし高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯が増えていく中、介護保険制度では対応できない生活支援ニーズや生活課題が多様化しています。今までのように専門職による主導だけでは対応できない課題が多くなり、今後は住民の参画による地域の支えあい体制づくりが必要になってきています。

このことから、平成27年度に介護保険制度が改正され、要支援1・2の方が利用する介護予防給付のうち、訪問介護と通所介護が新たな総合事業に移行されました。その結果、住民相互の支え合いによる通所・訪問サービスが求められています。

本会では、昨年度から川上、江崎、小川、むつみ、明木、佐々並の6地域で生活支援のコーディネーターとして「地域ささえあい推進員」を配置し、地域ささえあい協議体を設置して月一回話し合いを行ってきました。今年度から本格的に住民主体による生活支援サービスの活動を行っています。

江崎ささええ隊では、「おとなの部活」を田万川保健センターにおいて、月一回、買い物や自然を散策するなど、外出支援型のサロンを行っています。



小川ささええ隊では、「みのりの広場」を小川交流センターみりのりにおいて、月一回、

おでかけや食事なども行う通所型のサロンを行っています。

また、地域に理美容がないことから、出張



美容室を行い、とても好評を得ています。

その他に、年齢に関係なく気になる方を訪問して、見守りサービスを行っています。

むつみ元気支援隊では、「月曜サロン」をむつみ交流センターにおいて、週一回、通所型のサロンを行っています。またサロンに女性の参加が多い中、月一回、男性を中心としてサロン活動を行っています。

また、むつみ愛サービスと称して、



住みやすい明木を育てる会では、「たいやきサロン」を明木公民館において、月一回、通所型のサロンを行っています。



ゴミ出しや雪かきなどの訪問型のサービスを行っています。

佐々並ささえ愛隊では、「ほっとサロン」を社協旭事務所において、月一回、「ささなみ・お気楽サロン」を佐々並公民館において、月一回、通所型のサービスをを行っています。また、「おたすけクラブ」を立ち上げ、草刈や大型ゴミ出しなどの住民の皆さんのちょっとしたお困りごとにお応えしています。



平成28年度からは、新たに三見、大井、大島、相島、見島、その他の萩地域、須佐、弥富、福川、紫福で協議体を設置し、地域における支え合いの体制づくりについて取り組んでいきます。

ちよっとお茶を飲みにおいでませ



須佐・川上総合事務所にオープンスペース



須佐

シャッターチャンス「ほほえみ」時山勲さん写真提供

5月11日、須佐総合事務所1階ロビーに「より愛カフェ陽だまり」が、5月20日、川上総合事務所1階に「ほっとカフェ」が、それぞれオープンしました。どちらも住民の方が気軽に立ち寄ることができて、おしゃべりをしながら、くつろげる場所を作ることが目的にしています。両会場ともに総合事務所が開庁している月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時までで、どなたでも利用することができます。決まりはありませんので、総合事



川上

務所や診療所に行ったついでや、お手すきの時間がある時にお気軽にお立ち寄りください。会場にはお茶やコーヒーがセルフサービスでご利用できます。川上のオープン記念イベントでは、川上保育園の園児たちが交流の広場を訪れ、お年よりと和やかな時間を過ごしました。須佐のオープン記念イベントでは、地元コーラスグループ演奏や「昔ながらの須佐の味」と称し、地元の食材を使った料理が振る舞われました。

住民一人ひとりが主役です！

地区社協設置推進事業

萩市では、平成28年度になり高齢化率が39・4%、1世帯あたり2・1人となりました。

地域の中には、高齢化率が50%を越える集落の出現や住民同士の関係の希薄化、また生活・福祉課題の複雑化など、住民が身近にある課題を自分の課題として、皆で解決していく仕組みづくりが必要になってきています。それらを協議する場や、活動の基盤となる組織「地区社協」の立上げ準備が、各地域で進められています。

地区社協設立までの

スケジュール

① 地域運営協議会への説明（合意）

地域住民に地域の現状を知っていただき、地区社協設立の目的や地区社協の活動内容などの説明会を開催します。

② 地区社協住民説明会

地区社協の役員構成、財源確保の検討、事務局設置（設備・備品・職員）などを、月一回のペースで協議します。

③ 地区社協設立準備委員会の設置

地区社協は、地域に暮らす住民一人ひとりが主役です。枠にとらわれず、地域の自由な発想で、その地域ならではの地区社協を、住民同士で話し合いながら立ち上げましょう。

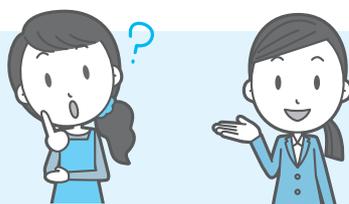
④ 地区社協研修会

県内外の地区社協先進地活動事例などの、パネルディスカッションによる研修会を開催します。

⑤ 設立式、設立総会

地域の方にアピールし、地区社協が身近なものと感じてもらうために、設立総会やセレモニーを開催します。

地区社協 Q & A



Q1 地区社協って、本当に必要なの？

A1 地域のコミュニティが弱まり、人と人とのつながりが希薄になり、高齢者や障がい者、子どもなど社会的に弱い立場にある人たちを地域で支えていく必要があります。そのためには、地域の生活福祉課題を発見し、解決の手助けをする活動を継続的に展開する組織として地区社協は期待されます。

Q2 地区社協が設立されたら、社協の事務所はどうなるの…？

A2 ご安心ください。地域の社協事務所は、今までどおり、地域に残ります。

市社協（各事務所）の役割は、市全体の地域福祉活動を企画・提案していく「地域福祉活動の推進主体」です。地区社協は、市社協の企画・提案を地域の実情に応じて取り入れ、自治会とも連携・協働を行い、地域福祉活動への住民参加を促進する「地域福祉活動の促進主体」です。

Q3 地区社協って、どんな事業や行事を行うの？

A3 地域によって様々です。高齢者のゴミ出し問題など、日常的な生活支援や高齢者の日常生活からの自然な見守り活動、福祉学習や住民福祉講座の開催、また福祉情報の発信などがあります。

Q4 地区社協の財源は？会費は必要なの？

A4 各地域での事業費は、地区社協からの申請を受け、共同募金助成金を活用します。また、当分の間は、市社協が事務局の人件費や事務費を補助します。

地域の福祉力を強め

ふつうにくらさせるしあわせづくりを進めました

進めました

平成27年度は、地区社協設置推進事業及び生活支援サービス体制整備事業の2つを重点目標としました。

●地区社協の設置推進

地区社協設置推進事業については、プロジェクトチームを職員で構成し、協議を重ねた結果、地区社協設置マニュアル等を地域福祉部に諮り、理事会・評議員会に上程し、平成28年度中に地区社協設立準備委員会を立ち上げ、設立に向けた協議を行うことになりました。

●生活支援サービス体制整備事業の推進

生活支援サービス体制整備事業については、川上、江崎、小川、むつみ、明木、佐々並の6地域で先行して取り組みました。

住民主体によるサービスの提供に向けた体制づくりのため、地域住民が中心となって話し合いを行

う「地域ささえあい協議体」を設置し、そのコーディネーターとして「地域ささえあい推進員」を配置して取り組みました。



11/21 第11回萩市社会福祉大会 金澤翔子さん席上揮毫

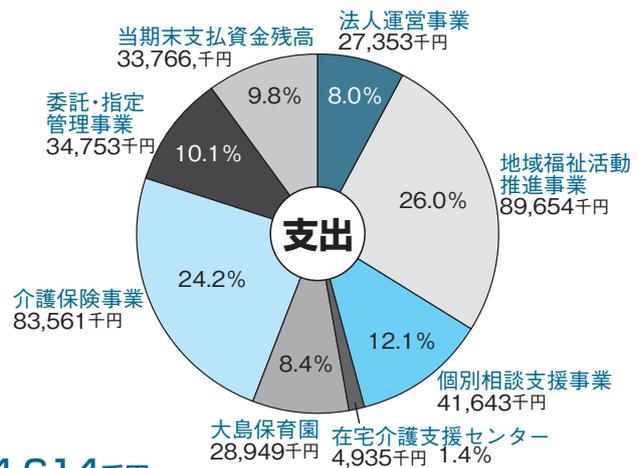
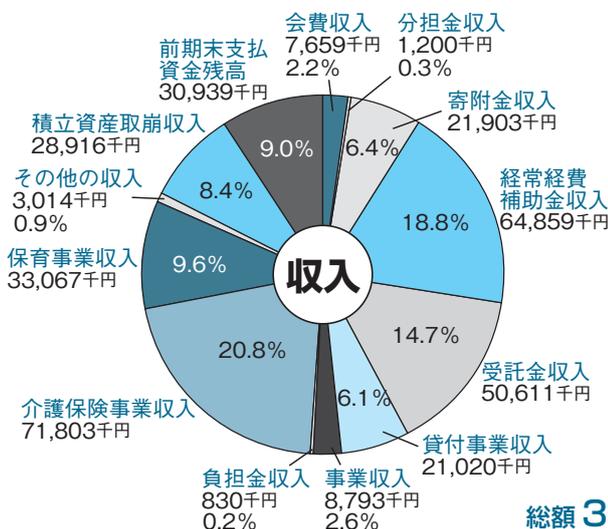


11/5 ご縁ウォーク 小川地域



9/29 家族介護者支援事業 唐津焼体験

平成27年度萩市社会福祉協議会決算概要



善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成28年3月1日～5月31日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
萩			
水津 孝昭	沖原	母/スミコ	金一封
田中 英世	越ヶ浜2区の2	父/常正	金一封
岡 哲雄	無田ヶ原の1	父/慶宣	金一封
原 紀弘	北古萩1区の1	母/房子	金一封
迫村千恵子	山田1区	父/孝一	金一封
松浦 潔	大井浦下	母/公子	金一封
岡田 陽幸	北木間	母/幸子	金一封
木原久仁雄	大井港中	父/新美	金一封
中尾 泰久	椿町の3	父/正月	金一封
住友 友子	倉江の1	夫/潔	金一封
河村 光浩	宇部市東岐波	父/和男	金一封
河内 富男	見島12区	父/成助	金一封
田畑 博正	見島12区	母/満江	金一封
北國 一行	見島11区	父/政行	金一封
岡崎 安子	上野の1	夫/清美	金一封
熊谷 一子	今魚店町	夫/幸三	金一封
岡崎 節夫	城東北区の2	母/郁子	金一封
岩崎 泉	大井港中	妻/ナツ	金一封
木村 好隆	上野の2	父/武雄	金一封
宇野 嘉祥	三見浦2	母/保枝	金一封
中尾 薫	玉江1区の2	父/寿夫	金一封
川村以津子	倉江の2	義弟/清	金一封
水津 豊	椿町の2	妻/スミエ	金一封
南 宗憲	前小畑2区の1	母/和江	金一封
川上美沙江	平安古西区の1	夫/和明	金一封
松本 蓉子	河添の1	夫/薫	金一封
原田千代子	上野の1	夫/幸助	金一封
吉村 茂子	雑式町	母/上田タケ	金一封
藤川 勝昭	川島3区の2	父/明	金一封
関屋みさ江	中津江の1	父/坂田 満	金一封
河田 英男	唐樋町の3	母/近子	金一封
宮木 久司	三見床並	母/サツキ	金一封
恩村 勝美	江向3区の1	母/瑛代子	金一封
山下八洲登	三見浦2	母/サヨ	金一封
山根 宏	上野の1	母/榮子	金一封
梶山美代子	土原1区の2	夫/弘美	金一封
角屋 勝子	玉江浦1区の3	夫/英市	金一封
田中 孝蔵	川島2区の2	母/米子	金一封
三村 浩一	沖原	母/千代子	金一封

氏名	住所	備考	金額
齊藤 和子	浜崎4区の2	夫/兼太郎	300,000円
吉田 恭一	堀内1区の1	母/幸子	金一封
池部 松	大島登	妻/幾代	金一封
豊田 悦子	東浜崎1区の2	母/スミ子	金一封
濱村 祥一	江向1区の3	父/敏夫	金一封
神村 佳宏	米屋町の2	父/典孝	金一封
佐々木 純	笠屋	父/勝之	金一封
仲野 俊雄	細工町	父/康典	金一封
松村美代子	松本市の2	夫/勇	金一封
羽倉 典子	沖原	夫/敏雄	金一封
大津 幾松	御許町の1	母/キヌ子	金一封
兒玉淳一郎	江向2区の1	母/瑛恵子	金一封
川 上			
横山 恵子	佐古	父/誠	金一封
田 万 川			
大野 浩司	大阪府豊中市	父/博	金一封
屋敷 照子	弁天	夫/光男	金一封
波田 了一	柳井市伊陸	父/伊勢男	金一封
桑原 光男	小川24区	母/栄	金一封
岩上真一郎	滋賀県東近江市	父/勇	金一封
梅地 勝秀	瀬尻	母/富子	金一封
む つ み			
奥村 正博	麻生	母/ひさ子	100,000円
椿 安子	殿川	夫/荘祐	金一封
田中 正行	下領	妻/敏江	金一封
永安豊太郎	宮廻	父/壽雄	金一封
岡崎シズコ	毛木山	夫/薫	50,000円
須 佐			
原田 幸昌	弥富8区	姉/中野満榮	金一封
長安 恵宥	入江	母/フミ子	金一封
山根サチ子	横屋丁	夫/壽治	金一封
岩本 栄司	山口市大内長野	父/好昭	金一封
御手洗勝子	水海	夫/和生	金一封
波田 伸一	松原	母/津多子	金一封
吉岡 万里	弥富7区	父/秀男	金一封
石田 憲雄	本町上	母/千恵子	金一封
旭			
中川 徹	見定	父/憲彦	金一封
藤井 茂子	下横瀬	母/文江	金一封
吉山 一廣	黒ヶ谷	母/ヨシエ	金一封

福		栄			
常永	俊秀	平原	父／正教	金一封	
原	均	堀越	母／セツ子	金一封	
鈴木	和夫	生野	父／松熊	金一封	
長谷	英利	生野	父／考	金一封	
藏増誠・巖	鶴ヶ谷		母／孝子	金一封	

佐々木和成	京場	父／恭治	金一封
斉藤 都子	文捨	父／登	金一封
浴野 雅子	生野	父／鈴木淑市	金一封
片山 妙子	栗原	夫／一徳	金一封
杉山 眸	生野	母／イナコ	金一封
水津 吉郎	小西見	長男／寛幸	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
みなと山口合同新聞社	下関市東大和町	社会福祉へ	70,000円
吉屋 信一	川島3区の2	社会福祉へ	金一封
松浦 芳江	土原1区の1	社会福祉へ	24,629円
匿名		社会福祉へ	1,699円
萩太極拳岳教室	椿	社会福祉へ	金一封
河内 孝道	古萩町の1	火事見舞返し	金一封
金田 智孝	古萩町の1	火事見舞返し	金一封

氏名	住所	備考	金額
松浦 稲生	大井後地	社会福祉へ	100,000円
井町 肇	大島沖手	見舞返し	金一封
匿名		社会福祉へ	30,000円
匿名		社会福祉へ	20,000円
品川サツキ	無田ヶ原の2	社会福祉へ	金一封
田万川			
(有)杉山薬局	下本郷		金一封
			(香典返し・一般寄付合計 101件 3,730,391円)

物品寄付

物品名	氏名	住所
田万川		
靴1足	篠原チヨ子	小川2区

物品名	氏名	住所
旭		
切手・テレホンカード	伊藤 栄史	牛地

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

お知らせ

地区社協研修会の開催

地区社協は、地域住民の自由な発想で事業展開し、その地域に必要な住民主体サービスを開発することができます。地区社協設立に向け、「住んで良かった」福祉のまちづくりのポイントを学習します。

●日時 9月3日(土) 13時30分～15時30分

●場所 サンライフ萩

●入場料 無料

●パネルディスカッション

『我が地域の地区社協づくり』（仮）
～先進地区社協の立上げから取組み～

●問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

24時間テレビ39「愛は地球を救う」

「愛～これが私の生きる道～」をテーマに、毎年恒例の街頭募金を行いますので、ご協力よろしくお願ひします。

●日時 8月28日(日) 10時～19時

●場所 アトラス萩ほか

元気と笑顔を御船町へ

萩市東部地域豪雨災害から3年。このたびは熊本地震で被害を受けられた皆さんに、何かお手伝いがしたいという思いで、6月18日に熊本県御船町へボランティアバスを運行しました。

参加者25名の元気と笑顔を届け、心に寄り添う支援活動を行いました。

社協の会員会費のご協力を！

社協では、市民一人ひとりが身近な福祉問題や地域福祉について理解と関心を深め、社協活動に積極的に参加・協力いただくよう全世帯・事業所などの会員加入をお願いしています。

どうぞ趣旨をご理解いただき、会員としてご協力くださいますようお願いいたします。

会員会費の種類

一般会費（世帯）	1口	500円
法人会費（事業所）	1口	3,000円
賛助会費（個人）	1口	1,000円
団体会費（団体・施設）	1口	2,000円



できる人が、できる事を、できる時に

いっとう会

この会は、昭和55年に住民福祉講座が開かれ、その講座の修了者を中心に須佐地域で最初にボランティアを目的としてできました。社会を明るく照らす一つの灯火として、活動を続けようとの意味で「いっとう会」と名付けられました。

結成当初は、町内をリヤカーを引きながら廃品回収、社協給食配食、手芸、貸衣装管理、施設訪問、小学新入生へのマスコット作り、古切手収集など多岐にわたり長い間、率先して地域に貢献してきました。しかし、現在、会員20数名の大多数が高齢者です。高齢になっても身近な生活の中で「できる人が、できることを、できるときに」をモットーに、会員同士で話し合いました。

地域の子どもと接する機会が少なく、交流することを考えて、草取り名人として小学校児童と一緒に校内

の草取りもはじめました。現在では、雑巾寄贈、交通立哨、会員研修などのささやかな活動も行っています。

小さな会ですが、先人たちの思いを引き継ぎ、仲間と楽しく続けていきたいと思っています。入会される方、大歓迎です。お待ちしております。

